

# 福岡県公共図書館等協議会職員研修会 大会テーマ: 非来館型サービスを考える

## 「人・情報・空間」のつなげ方 ～動き続ける図書館をめざして～



2021年2月15日

県立長野図書館 企画協力課

主査(司書) 朝倉 久美

# 県立長野図書館 三本の柱

---

「情報」と「情報」をつなぎなおす

「情報」と「ひと」をつなぎなおす

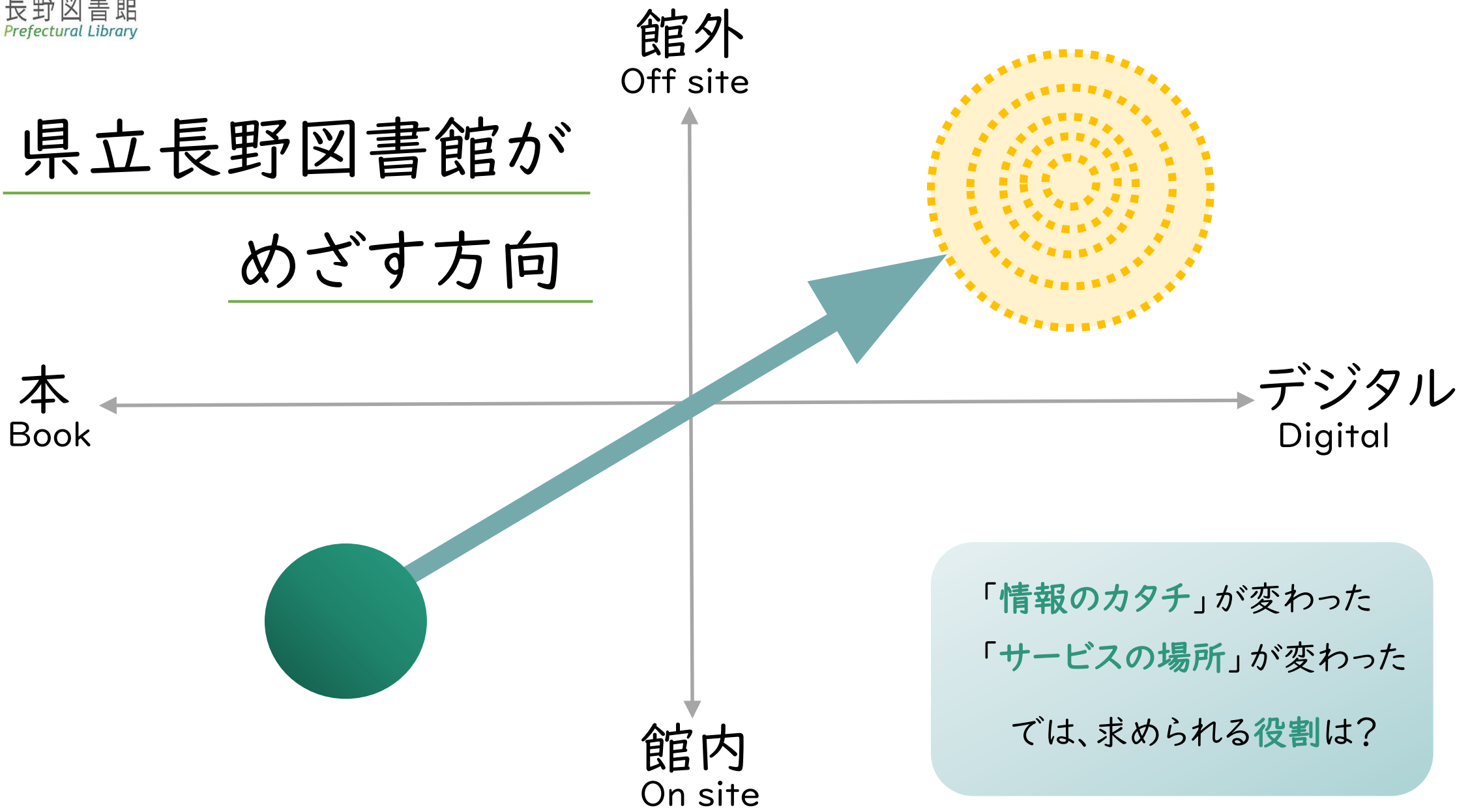
「ひと」と「ひと」をつなぐ

「場」  
の革新

「人」  
の変革

「情報」  
の改革

# 県立長野図書館が めざす方向



「情報のカタチ」が変わった  
「サービスの場所」が変わった  
では、求められる役割は？

# 「情報」と「情報」をつなぎなおす

## ■ 情報のカタチを見直す

- ・商用データベースの導入／広域利用実現に向けた働きかけ
- ・収集する情報資源の多様化／プログラムの開発・展開
- ・収蔵資料への新たな意味づけ



“本”だけではない情報資源の整備と、それに触れる機会・活用するためのプログラムの開発・提供

信濃図書館時代の蔵書や戦時中に検閲を受けた資料を手にとって見られる部屋

# 「情報」と「ひと」をつなぎなおす

## ■ 情報を「調べる」力・「創造する」力を育む

- ・「WikipediaTown」の開催支援
- ・探究学習プログラムの開発・展開／学校図書館等との連携  
(例:夏休み子ども向け企画「図書館王におれはなるっ!!!」実施、能動的に地域を知る「信州学」へのサポート)
- ・みんなが使えるアーカイブをつくる取組み (例:「どこコレ?信州篇」)

## ■ 情報を「体験する」空間を整える

- ・Wi-Fi、インターネット環境の整備
- ・“くらしの実感”を意識した情報の並べ方



信州・学び創造ラボオープニングイベントでは、市立小諸図書館の会場からもWeb中継でワークショップに参加していただいた

# 「ひと」と「ひと」をつなぐ

## ■ 「コミュニティ」がうまれる場所としての図書館

- ・「信州・学び創造ラボ」の整備 (ワークショップを重ねたプロセス)
- ・活動の核となる企業・団体等との連携  
(株式会社バリューブックス、信州大学教育学部、株式会社アソビズム…)



## ■ 「これからの図書館」のあり方をみんなで考える

- ・県内各地での「これからの図書館フォーラム」の開催

多様な属性、視点を持つ人々が集い、対話することで、地域の暮らしの中にある課題やニーズを掘り起こし、解決していける可能性が生まれるのでは？



県立長野図書館 フロア案内

1階： 「体験・発見」やってみ?!

「児童図書室」

1.



## 論理的思考力を育む

…「OSMO コーディング」

iPad専用のプログラミングゲームを常設しました。2020年度から小学校で必修化されたプログラミング教育の片鱗を、誰でも自由に体験することができます。一人でじっくり考えながら、またみんなでワイワイ楽しみながらブロックを手で組み上げ、ゲームを通して問題を解く道すじ(アルゴリズム)を体感してみてください。

2.



## リアルとバーチャル を行き来する

…「ほぼ日アースボール」

iPadやスマホをかざすと、好奇心を刺激するコンテンツが飛び出すビニール製の地球儀です。アナログのようであり、実は最先端の技術が詰まっているので、世界の写真や動画、データなどに楽しくアクセスできます。“地球”に触れながら、「もっと知りたい」のタネがたくさん見つかる、情報の世界への入口です。

3.



## 楽しみながら謎を解く

…百科事典探究クイズ

総合百科事典『ポプラディア』を使った問題に挑戦してもらい、解答には職員がコメントをつけて掲示する双方向型のクイズです。どの公共図書館でもできる「主体的・対話的で深い学び」へのアプローチとして、子どもたちの自発的な「知りたい!」を刺激します。『ポプラディア』の、データベース版も利用できるので、紙とデジタルにおける情報の違いも見えてきます。

4.



## 触れて感じる 「体験の貸出」

…外遊びグッズ各種

県立長野図書館の目の前には自然あふれる若里公園があります。この環境を活かし、子どもたちが「知りたい」と「調べる」の間で「感じる」を体験できるように、公園で使える双眼鏡や運動グッズなど「体験」を促す道具を用意しました。五感を駆使して、からだ全体で“知”を見つけてください。

5.



## 仲間との出会いと協働

…テーブルゲーム各種

将棋やオセロなどの定番から、まだあまり知られていない新しいゲームまで。テーブルゲームは、世代や地域を越えた共通の文化をつくるコミュニケーションツールであり、想像力を促し、創造力を培うきっかけでもあります。館内でご利用いただけますので、親子や友だち同士、また“はじめまして”の人とも 対戦してみてくださいはいかがでしょうか？



県立長野図書館 フロア案内

# 2階：「世界」の再発見

「一般図書室」

県立長野図書館 2階閲覧室のご案内

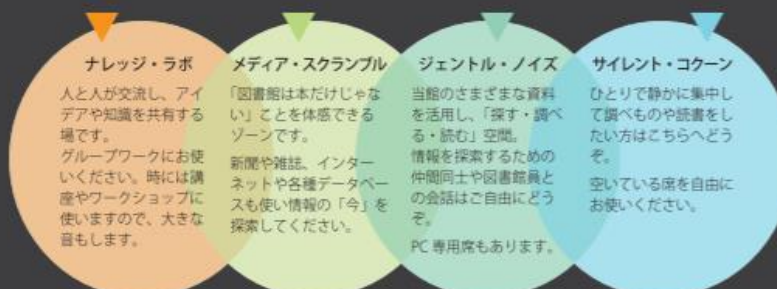
# だれもがそれぞれの「知る」を手にする場へ

県立長野図書館は、今の社会を共に生きるさまざまな人びとの「知る」の入口、場でありたいと思います。

今、図書館は、そこに収蔵されている本を借りたり読んだりするだけではなく、デジタルな情報を探索したり、そこに集う人同士が共に学びあう場になりつつあります。ひとり一人が知識を獲得するだけではなく、みなさんが集い、交流しながら共に知り、共にこれからの社会を創造する場でもあるのです。

ですから、ただ単に「しーっ！静かに」ということではなく、みなさんが心地よく図書館員と話したり、仲間同士が語らうこともできるような場や時間も必要です。

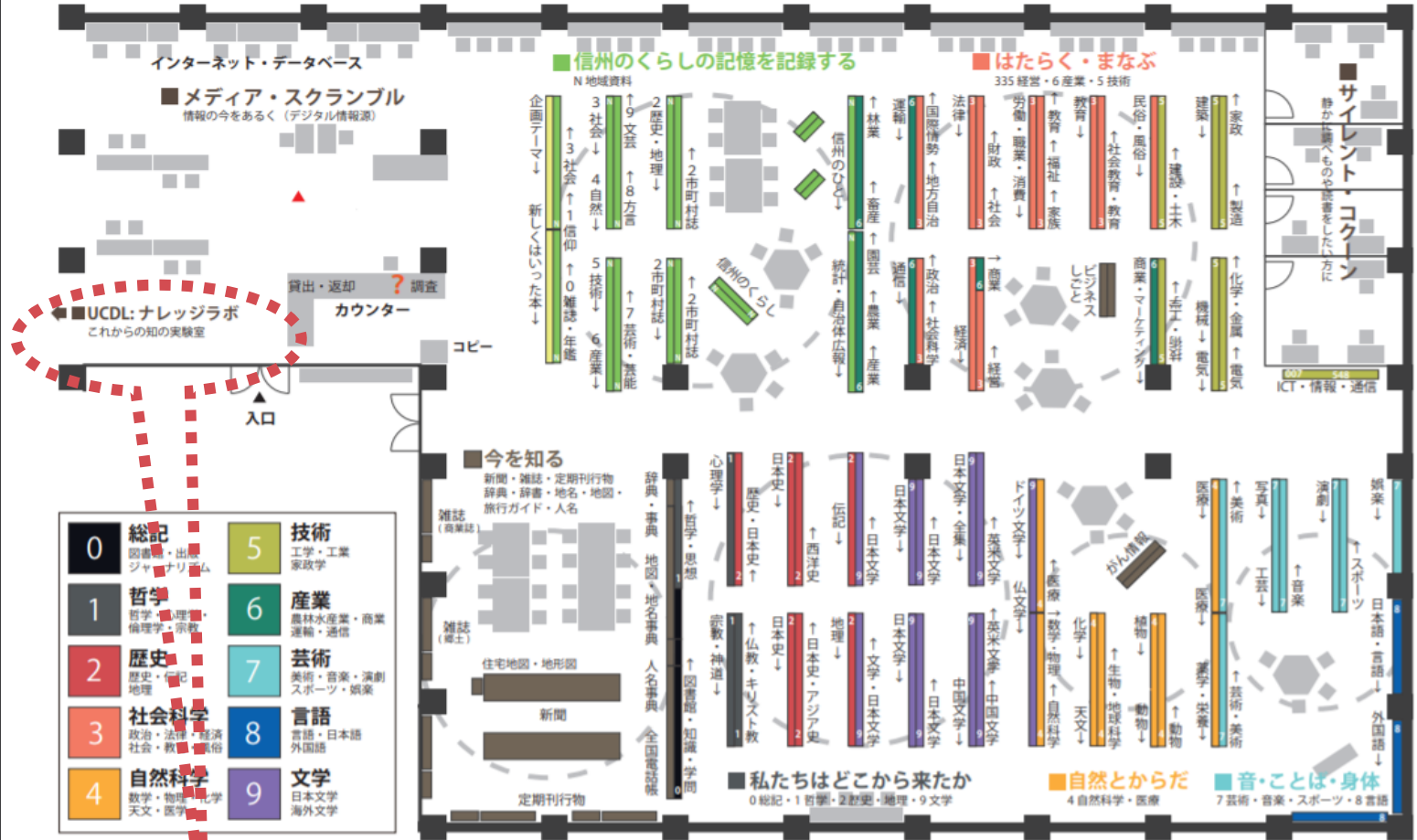
「多様な他者とともに自由に生きる場」、「地域の人びとが共に知り、共に創る自治の場」をみなさんと共につくりたいと、県立長野図書館は考えます。



Nagano Prefectural Library  
県立長野図書館

## 県立長野図書館 2階一般図書室 配架案内

2019年3月1日



ナレッジラボ  
2020.9  
ネーミングライツ  
終了



県立長野図書館 フロア案内

# 3階： 「共知・共創」開かれた学びの場

「信州・学び創造ラボ」

# 信州・学び創造ラボ

「共知・共創（共に知り、共に創る）」をコンセプトとした「ラボ」は、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場を目指しています。それはまた、多様な人びとの自由な活動を実現するための運営方法やルールもみんなで考えていくという、これからの図書館や公共空間のあり方を考えるための実験室でもあります。  
 信州のこれからの学びの姿を試し、体感できる場所として、ぜひ自由にご活用ください！



学びの成果を  
アウトプットする

ものづくり  
ラボ

3Dプリンター、  
UVプリンター、  
レーザーカッター、  
PC、展示棚 等



多様な情報や人がつながり  
アイデアを形にしていく

Co-learning  
ゾーン

ワークショップ用  
テーブル・椅子、ベンチ  
ミーティングブース  
マイクロライブラリー  
簡易キッチン 等

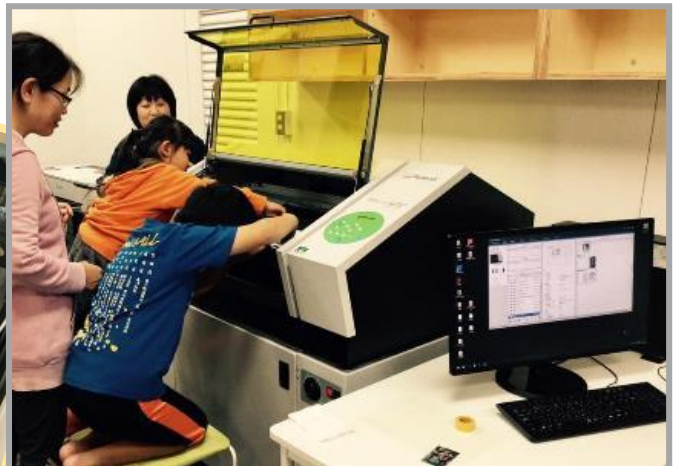


信州の知を集め、  
つなぎ、創造する場

信州情報  
探索ゾーン



六角形書架、  
展示棚、  
平置きタッチパネル  
ディスプレイ、  
信州白地図、黒板、  
ホワイトボード  
畳スペース 等



2018~  
2019

# コミュニケーションから うまれるコミュニティ



“図書館サービス”とは何か

なぜ“コミュニティ”が必要か

三つの  
自問自答

“みんな”とは誰か

何ができなくなりましたか？

図書館が止まった日のこと。

---

何がしたかった  
ですか？

# 2020年上半期：社会状況の変化と図書館

---

- 2020年4月～5月（緊急事態宣言→休館）
  - ✓ 全国の休館率：92%
  - ✓ 長野県内公共図書館休館率：約70%、相互貸借実施率：50%
- 6月（経過観察）
  - ✓ 集合型イベントは極小規模
- 7月～8月第2波（経済との両立）
  - ✓ 慎重な対策による集合イベントの実施
- 9月～10月の状況（新しい生活様式の定着）
  - ✓ 開館しつつ三密を避ける（席数削減、食事制限、マスク着用）  
集合イベントは禁止ではないが慎重さが必要
  - ✓ 特殊状況の長期化⇒ニューノーマル



もう、利用者は戻ってきてくれないのではないか

来館してほしい、でも、集まってほしくない

感染リスクが増えてもサービスは縮小できない

収束の形が見えないという災害

不安感

# 2020年上半期：県立長野図書館の運営指針

- 図書館運営でもっとも重視したのは  
「安心」・「安全」・「安定」

- 3つの「安」を前提とした「挑戦」

- ✓ 「資料・情報」を届ける

- 郵送貸出サービスのプロモーション
- メールベースでのレファレンス
- 「信州ナレッジスクエア」による学びのコンテンツの提供

#図書館は動きつづける

- ✓ 「場」を届ける

- ウェブを活用したコミュニケーションの場

# 県立長野図書館の本をかりるには？

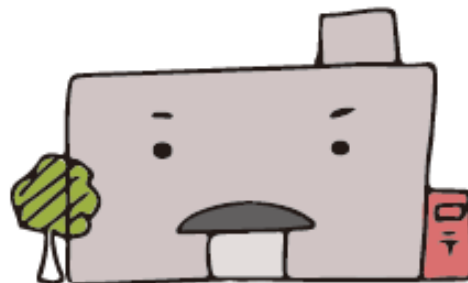
広報の  
あり方を見直す

ぜんぶ  
これまで  
やってたこと  
だった

直接来館して  
本をかりる



近隣のヒト



県立長野図書館

来館せずに  
本をかりる



遠方のヒト

直接本を見て選べる！

## 貸出

コロナ感染対策のため、  
来館のみなさんへお願いしていること

滞在時間を1時間以内にとどめて下さい  
混雑状況によっては入館制限をします  
発熱・咳などの症状のある方は利用を  
ご遠慮ください  
マスクの装着・手のアルコール消毒をお  
願いします

ネットで予約！  
サクッと受け取り「3密」回避

## テイクアウト貸出

館内での滞在時間を少なくして、3密を  
回避するために、ぜひご利用ください

県立長野図書館ホームページから  
「マイライブラリー」の設定をすると、  
本を予約・当館受取の指定ができます

近くの図書館や公民館で  
受け取り可！

## インターネット貸出

近くの図書館や公民館を通じて、本を  
かりることができます

県立長野図書館ホームページから  
「マイライブラリー」の設定をすると、  
本を予約・受取館（図書館や公民館）  
の指定ができます

コロナ感染対策により、一部サービ  
スを休止している受取館もあります

自宅へお届け！  
（送料利用者負担）

## デリバリー貸出

ご希望があればご自宅へお届けし、本  
をかりることができます

送料（往復）は利用者負担になります

どんな思い  
でしたか？

何から始め  
ましたか？

## 図書館が動き始めた日のこと。

---

失われたものと  
取り戻したものは  
何ですか？

やめてみたものと  
作り出したものは  
何ですか？

# 暗中模索

### 新型コロナウイルス感染症対策のため 図書館サービス一部休止のお知らせ

3/4 (水)~

施設内での人の混雑を抑えることで、感染者との接触のリスクを下げ、感染の拡大を抑えるための対策です。ご理解ご協力をお願いします。

**図書館施設の利用は以下の通りとさせていただきます。**

- ◆ 開館時間を 9:00 - 17:00 とします
- ◆ 1階 児童図書室：本を探し・借りることができます (閲覧席は使えません)
- ◆ 2階 一般図書室：本を探し・借りることができます (閲覧席は使えません)
- ◆ 3階 信州・学び創造ラボ・会議室：利用できません
- ◆ 館内フリースペース：利用できません

**Webサイトやメールを通じた情報サービスは通常通りです。**

- ◆ 蔵書検索・本の予約・貸出期間延長・貸出状況確認など：Webサービス
- ◆ 蔵書案内・レファレンス (調べもの支援)：Web・メール・電話サービス
- ◆ インターネット貸出サービス：Webサービス
- ◆ 相互貸借 (市町村図書館等を通しての資料の貸出) など：Web・メール

図書館サービスの再開などの最新情報は、県立長野図書館 Webサイト、フェイスブックページをご覧ください

### 新型コロナウイルス感染症対策のため 図書館サービス制限の緩和について

3/18(水)~24(火)

施設内での人の混雑を抑えることで、感染者との接触のリスクを下げ、感染の拡大を抑えるための対策です。ご理解ご協力をお願いします。

**図書館施設サービスの利用は以下の通りとさせていただきます**

- ◆ 開館時間は通常通りとします
- ◆ 館内での滞在時間を1時間以内にとめてください
- ◆ 発熱・咳などの症状のある方は利用をご遠慮ください
- ◆ マスクの着用・手のアルコール消毒をお願いします

**◆ 1階 児童図書室：本を探し・借りることができます (閲覧席は使えません)**

**◆ 2階 一般図書室：本を探し・借りることができます (閲覧席を少なくしています)**

蔵書案内・レファレンス・相互貸借・複写・データベース利用などもできます

- ◆ 3階 信州・学び創造ラボ：利用できません
- ◆ 3階 会議室：利用できません
- ◆ 館内フリースペース：利用できません
- ◆ Webサイトやメールを通じた情報サービスは通常通りです

蔵書検索・本の予約・貸出期間延長・貸出状況・インターネット貸出サービス・レファレンスなど

3/25(水)以降の対応については、感染症拡大の状況等を見ながら判断いたします。最新情報は、県立長野図書館Webサイト、フェイスブックページをご覧ください

### 新型コロナウイルス感染症対策のため 図書館サービス再休止のお知らせ

4/9(木)~22(水)

県内の感染症拡大防止のために重要な時期 (感染対策強化期間) といたします。手洗い・20分以上の換気などの基本的な感染防止策を徹底し、2階の感染リスクをさらに少なくするために、2階のサービスを一時的に休止いたします。

**図書館施設の利用は以下の通りとさせていただきます。**

- ◆ 開館時間を 9:00 - 17:00 とします
- ◆ 1階 児童図書室：お休みします (2階 一般図書室で検索し、借りることができます)
- ◆ 2階 一般図書室：本を探し・借りることができます (閲覧席は使えません)
- ◆ 3階 信州・学び創造ラボ・会議室：利用できません
- ◆ 館内フリースペース：利用できません

**Webサイトやメールを通じた情報サービスは通常通りです。**

- ◆ 蔵書検索・本の予約・貸出期間延長・貸出状況確認など：Web
- ◆ 蔵書案内・レファレンス (調べもの支援)：Web・メール・電話
- ◆ インターネット貸出サービス：Web
- ◆ 相互貸借 (市町村図書館等を通しての資料の貸出) など：Web・メール

4/22(水)以降の対応については、感染症拡大の状況等を見ながら判断いたします。図書館サービスの再開などの最新情報は県立長野図書館Webサイトをご覧ください

### 新型コロナウイルス感染症対策のため 滞在型サービス休止のお知らせ

4/16(木)~5/6(水・祝)

**貸出・閲覧・施設利用などの滞在型サービスを休止します**

- ◆ ただし、インターネット貸出の予約資料は当館受取ができます (郵送料にお電話ください)
- ◆ インターネット貸出による貸出期限を4週間に延長します (休館中のみ)

**Web等を通じた情報サービスは以下の通り利用できます**

- ◆ 蔵書検索・本の予約・貸出期間延長・貸出状況確認など：Web
- ◆ 蔵書案内・レファレンス (調べもの支援)：Web・メール・電話
- ◆ インターネット貸出：Web
- ◆ 相互貸借 (市町村図書館等を通しての出版資料貸出) など：Web

4/17以降の対応については、感染症拡大の状況等を見ながら判断いたします。図書館サービスの再開などの最新情報は、県立長野図書館Webサイトをご覧ください。お問い合わせ：026-228-4921 (貸出係)

### 新型コロナウイルス感染症対策を講じた 図書館サービスの再開について

5/16(土)~

「3密」を回避し、利用者のみならずスタッフの安全性を確保しながら、滞りなくサービスを提供いたします。ご理解ご協力をお願いします。

**図書館施設の利用は以下の通りとさせていただきます**

- ◆ 館内での滞在時間を1時間以内にとめてください
- ◆ 混雑状況によっては入館制限をさせていただきますことがあります
- ◆ 発熱・咳などの症状のある方は利用をご遠慮ください
- ◆ マスクの着用・手のアルコール消毒をお願いします

**◆ 本を探し・借りることができます (ただし、閲覧席数を少なくしています)**

蔵書案内・レファレンス・複写・相互貸借・データベースなども利用できます

- ◆ 信州・学び創造ラボ、会議室、館内フリースペース：利用できません
- ◆ Webサイトやメールを通じた情報サービスは通常通りです

蔵書検索・本の予約 (インターネット貸出)・貸出延長・貸出状況・レファレンスなど

【開館時間】 平日9:00-19:00 | 土日祝9:00-17:00  
【お問い合わせ】 026-228-4900

### 新型コロナウイルス感染症対策を講じた 図書館サービスについて

6/9(火)~

「3密」を回避し、利用者のみならずスタッフの安全性を確保しながら、滞りなくサービスを提供いたします。ご理解ご協力をお願いします。

**図書館施設の利用は以下の通りとさせていただきます**

- ◆ 館内での滞在時間を1時間以内にとめてください
- ◆ 混雑状況によっては入館制限をさせていただきますことがあります
- ◆ カウンターでは一定の距離を保ってお並びください
- ◆ 発熱・咳などの症状のある方は利用をご遠慮ください
- ◆ マスクの着用・手のアルコール消毒をお願いします
- ◆ 3階 信州・学び創造ラボは利用できません (再開に向けて準備中です)

**◆ 本を探し・借りることができます (館内の座席数を少なくして、間隔を保っています)**

蔵書案内・レファレンス・複写・相互貸借・データベースなども利用できます

- ◆ Webサイトやメールを通じた情報サービスは通常通りです

蔵書検索・本の予約 (インターネット貸出)・貸出延長・貸出状況・レファレンスなど

【開館時間】 平日9:00-19:00 | 土日祝9:00-17:00  
【お問い合わせ】 026-228-4900

### 新型コロナウイルス感染症対策を講じた 図書館サービスについて

6/16(火)~

**図書館施設の利用は以下の通りとさせていただきます**

- ◆ 館内での滞在時間を1時間以内にとめてください
- ◆ 館内の座席数を少なくして、間隔を保っています
- ◆ 発熱・咳などの症状のある方は利用をご遠慮ください
- ◆ マスクの着用・手のアルコール消毒をお願いします
- ◆ カウンターでは一定の距離を保ってお並びください
- ◆ 混雑状況によっては入館制限をさせていただきますことがあります

「3密」を回避し、利用者のみならずスタッフの安全性を確保しながら、滞りなくサービスを提供いたします。ご理解ご協力をお願いします。

【開館時間】 平日9:00-19:00 | 土日祝9:00-17:00  
【お問い合わせ】 026-228-4900

### 県立長野図書館利用時のお願い

6/27(土)~

**マスクの着用** **手指の消毒** **食事はご遠慮下さい**

- ◆ 館内の座席数を少なくして、間隔を保っています
- ◆ 発熱・咳などの症状のある方は利用をご遠慮ください
- ◆ カウンターでは一定の距離を保ってお並びください

【開館時間】 平日9:00-19:00 | 土日祝9:00-17:00  
【お問い合わせ】 026-228-4900

### 県立長野図書館利用時のお願い

**マスクの着用** **手指の消毒** **食事はご遠慮下さい**

- ◆ 2階・一般図書室は「調べものためのフロア」です
- ◆ 自習は3階・会議室をご利用ください
- ◆ 館内の座席数を少なくして、間隔を保っています
- ◆ 換気を徹底していますので、暖かい服装でご来館ください
- ◆ 発熱・咳などの症状のある方は、利用をご遠慮ください

【開館時間】 平日9:00-19:00 | 土日祝9:00-17:00  
【お問い合わせ】 026-228-4900

### 県立長野図書館利用時のお願い

**マスクの着用** **手指の消毒** **食事をしない** **防衛対策**

- ◆ 2階・一般図書室は調べものためのフロアです。自習は3階・会議室をご利用ください
- ◆ 館内の座席数を少なくして、間隔を保っています
- ◆ 換気を徹底していますので、暖かい服装でご来館ください
- ◆ 発熱・咳などの症状のある方は、利用をお控えください

【開館時間】 平日9:00-19:00 | 土日祝9:00-17:00  
【お問い合わせ】 026-228-4900

# 試行錯誤

## メディアの反応

### 図書館は動き続ける 宅配で本を貸し出し、試み広がる

🔒 有料会員記事 ⓘ 新型コロナウイルス

伊藤和行 2020年5月8日 11時00分

🔗 シェア 🐦 ツイート 📌 ブックマーク ✉ メール 🖨 印刷



学生に貸し出す本をレターパックに入れる司書  
=2020年5月1日午後3時23分、東京都品川区の東  
京都立産業技術高等専門学校、伊藤和行撮影

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、全国の図書館の休館が長引いている。政府が4日に示した方針で再開は認められたが、終息が見通せず、二の足を踏む図書館が多い。そんな中、本の宅配サービスを始める図書館が出てきている。

「#図書館は動きつづける」。長野県立長野図書館（長野市）は4月22日、そう掲げて、宅配による本の貸し出しを始めた。全国に緊急事態宣言が広がり、18日から全ての来館サービスを休止。政府の再開容認後も「安全を守るため」と、今月15日まで延長する。

朝日新聞デジタル。「**図書館は動き続ける 宅配で本を貸し出し、試み広がる**」

(2020年5月8日)

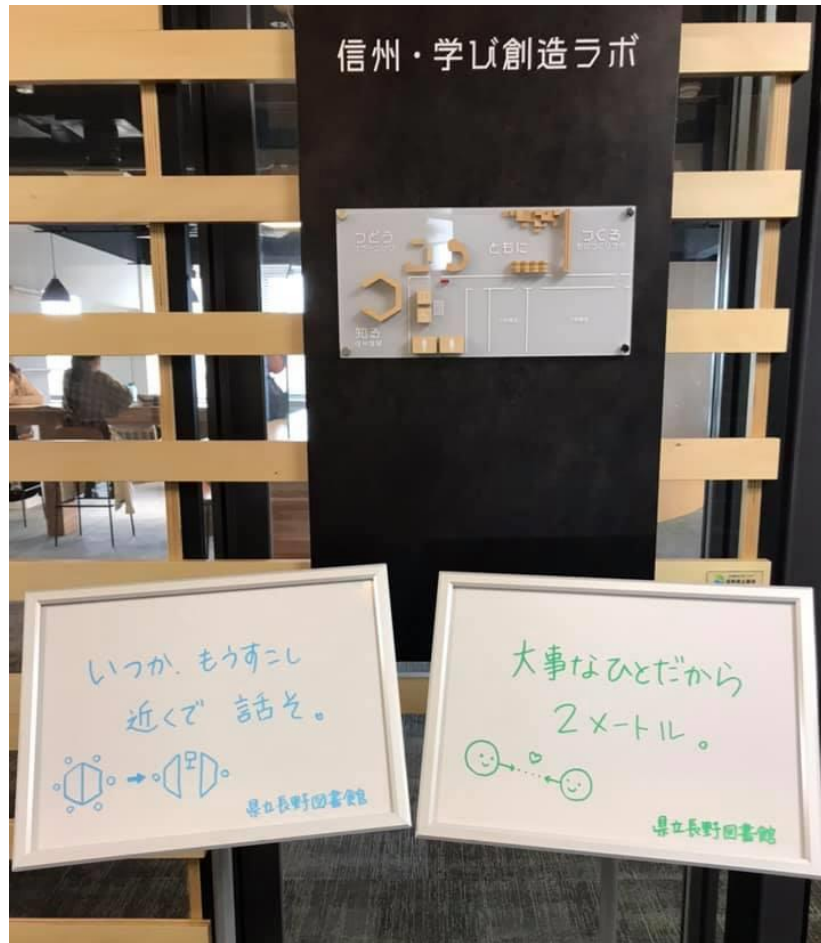
<https://www.asahi.com/articles/ASN5833Q9N57UTIL02R.html>

再開後……

コロナ対策を行いながらの開館：不安もありつつ、日常が戻った明るいニュースとして、多数報道「来館者名簿」と「プライバシー」の葛藤についての報道も多数

森いづみ、中村竜生. ウイズコロナ時代の公共図書館を模索する：県立長野図書館の取り組み(特集 コロナ禍における図書館の現在)「図書館雑誌」114巻9号, 491-494.(2019.8) <http://hdl.handle.net/10091/00022332>

# 対話と交流のラボ、だから。





「これからの公共について考えるための対話」シリーズ第4回

web開催

信州・学び創造ラボ開設1周年記念

# 「こっそりごっそりとしょかんをかえよう」

公共空間としての図書館をデザインする

4月25日(土)  
13:00-16:00

- 三浦 文典 さん(スターバックス)
- 李明喜 さん(アカデミック・リソース・ガイド)
- 溝内 貴 さん(コトノエリグラム)
- 平賀 研也 さん(前・県立長野図書館)

その第一回で新しいブリックな空間をつくることについてお話ししていたのが定年季の二週前でした。三浦さんはその後、図書館のデザインも手掛けておられます。

そして、2018年5月には「信州・学び創造ラボ」の開設に向けて、「信州・学び創造ラボ」公開デザインコンテスト 検討ワークショップを開催。三浦さんと溝内さんがファシリテーターとなり、「ソフトとハード、物理空間とデジタル空間、つくることと運営すること、つくることと利用することの連続」を語り継ぎ、図書館とまち、建築と人、人と人がつながる「公共空間」としてこれからの図書館をみなさんと共にデザインしました。この取り組みは今後のオープン化にも「信州・学び創造ラボデザイン企画」として継承されています。

そんなプロセスで出会った4人が考える、これからの公共とは？公共空間としての図書館とは？そしてそれをデザインするとは？そんな話をきっかけに、みんなで考え、対話します。

「こっそりごっそりとしょかんをかえようのそのまゝに」  
3月29日(日) 14:00-15:00



4/25の対話の前に、参加の4人と一緒に「信州・学び創造ラボ」プロジェクトまでの道のりを振り返ります。Zoomで参加or Facebook配信視聴の実験をお楽しみください！詳しくは県立長野図書館 Facebook、web サイトをご覧ください。



**三浦 文典** (みうら・ふみのり)  
スターバックス代表。  
<http://stajlofts.jp/>  
1974年東京都生まれ。  
早稲田大学卒業、ロンドン大学バートレット校ディプロマコース修了、早稲田大学大学院博士課程退学。  
2001年〜2006年までNASA 勤務。  
2007年設計事務所スターバックスバロックス設立。  
大小さまざまなまちづくり、設計活動を進めながら、シェアオフィスや複合スタジオなど、自ら経営や運営にも携わる。  
「道の駅 FARMUS 木島平」で2015年グッドデザイン賞、経済産業大臣賞、2015 JCD デザインアワード受賞、日本建築業協会 (JCA) 賞、中経建築賞など受賞。2016年福岡建築会特別功労賞受賞。  
現在、東京副都庁構、静岡県池之原町、鳥取県智頭町、高知県高岡十町の4つの自治体で図書館設計に関わる。言葉に「起こらなかった世界についての物語」(P190, 朝日社)、「こっそりこっそりまちをかえよう。」(P196, 朝日社)など。

**李明喜** (り・みよひ)

アカデミック・リソース・ガイド株式会社 (arg) 取締役 CDO (最高デザイン責任者)。  
<https://arg-corp.jp/>  
1966年兵庫県生まれ。美術科専攻。  
1998年、デザインチーム mat を立ち上げ、商業・公共施設、アートスペースの空間デザインやキュレーション業務を行う。  
2014年より、arg 社のデザイナーとして、津賀川市、飯橋町、西ノ島町、飯橋町などで、図書館を中心とした新しい文化施設づくりや地域のデザインにあたる。  
図書館管理運営計画、ミュージアムキュレーションなどを担当した「津賀川市民交流センター site」は、2019年グッドデザイン賞を受賞。



**溝内 貴** (たさうち・とおる)

株式会社コトト 代表。  
1979年大阪生まれ長野育ち。デザイナー、企画家。  
地域に根ざし、さまざまな事業やプロジェクトの推進者として、各種広告やウェブサイトなどのデザインディレクションを手がけるほか、地域課題を整理、解決するための活動やプロジェクトに関わるなど、グラフィックデザインや空間デザイン、プロジェクトマネジメント、コミュニティデザインとその周辺を専門領域としている。多様なコミュニケーションや、プロジェクト企画などを組み合わせた企画、ディレクションを得意とする。  
株式会社コトト 代表取締役、エリグラム株式会社 取締役、まちの教室 ディレクターなど。

**平賀 研也** (ひらが・けんや)

前・県立長野図書館長 (2015.4-2020.3)  
1979年信州生まれ。東京育ち。  
建築及び建築企画マネージャーとして企業に勤務。その後米国イリノイ州に暮らし、建築学を学ぶ (University of Illinois, MIBA)。2002年長野県伊那市に移住。  
公共政策シンクタンク (総合研究開発機構) の研究員を経て、2007年-2015年の間、公共により伊那市立伊那図書館長、伊那市立図書館長「図書館という100年経ちの種を結実させた挑戦」とその推進により、新しい公共空間としての地域図書館の可能性を拓いている」として Library of the Year 2019 受賞。  
2015年4月より県立長野図書館長、県立図書館の事業改革プランを策定実施。「これからの図書館」の情報・空間・人に関わる提案と実行を続けてきた。県立図書館は「信州・学び創造ラボ」などの取り組みを「知の公共性」を軸に推進してきた。長年の賛助となる情報拠点の構築。として Library of the Year 2019 受賞。  
提案ある知の提供と世界の再発見。情報ノラシオン向上に寄り添える地域情報ハブとしての図書館。本願とする可能性に支えられた新しい公共空間の実現を目指してきた。





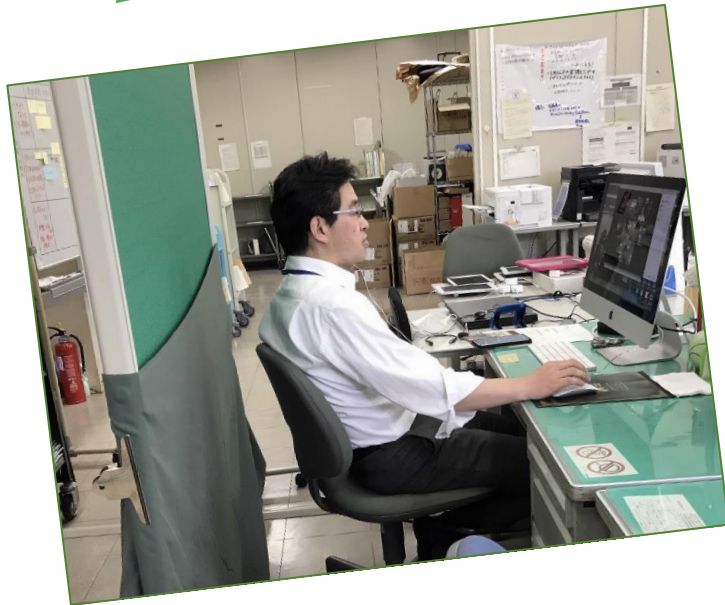
# 信州発・これからの図書館フォーラム「これからの公共について考えるための対話」 シリーズ第4回 県立長野図書館「信州・学び創造ラボ」開設1周年記念



“こっそりこっそり としょかんをかえよう” の、そのあとに

# ラボカフェ オンラインの会 (Zoom画面)

とどける



うけとる



## ラボカフェ・グラウンドルール

ゆるやかな約束ごと

安心感

### 耳をかたむけよう。

誰かが話をしているとき、自分の音声を「ミュート」にすると、お互いに聞き取りやすくなります。マイクマークをポチッとしましょう。

### うなずこう。

遠くの人と話をするのは、やっぱりちょっと不安です。わかりやすいリアクションがあるとうれしいです。拍手機能も使ってみましょう。

### 小出しにしよう。

画面の向こうにはたくさんの方がいて、それぞれ話したいことを持っています。トークはひとり2分以内を目安に、次の人に回しましょう。

### 手をのばそう。

知り合い同士も初めましての方も、参加するひとと運営スタッフも、誰もが同じテーブルにつく仲間です。みんなで作らしましょう。

接続環境により、配信が不安定になることがあります。あらかじめご承知おきください。

万能の呪文

## 長野県公共図書館長研修 (松川町サテライト会場)



あつまる

信州・知の連携フォーラム  
(塩尻会場から見た長野会場)

まじわる



ラボ・デザイン会議  
⇔遠隔ファシリテーター






ひろがる

公共フォーラム#03  
(富士見一楽荘 ⇒  
サテライト4会場)

つながる



配信元  
↓  
個人接続

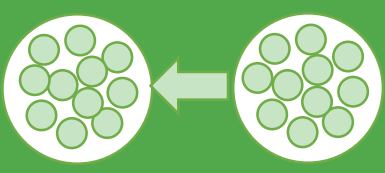


**コロナ急性期**  
 集合できない代替措置として  
 リアルからバーチャルへの転換

4月「公共フォーラム(こっそり  
 ごっそり)」本番・そのあとに  
 5月「ラボカフェ オンライン①」  
 6月「ラボカフェ オンライン②」

▲ 持続的な図書館活動  
 “図書館は動き続ける”  
 ▼ 接続・配信スキルが左右する  
 特定のターゲットを対象  
 「来館者のための図書館」

配信元  
↓ ↑  
受信会場

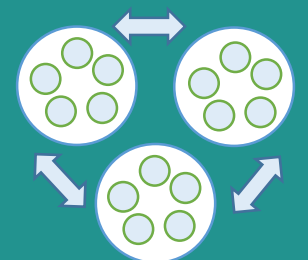


**コロナ緩和期**  
 「集まる」と「繋がる」を模索  
 リアルを取り戻す(立ち返る)

7月「ラボ・デザイン会議」  
 8月「ラボカフェ もりラボ」  
 9月「ラボカフェ うなずき珈琲」  
 10月「公共図書館長研修」

▲ 集まることの良さを再確認  
 コミュニケーションの可能性  
 “ウェブの中のパブリック”  
 ▼ 多くが“参加者”に留まる  
 関係性および場の固定化

配信元  
=  
サテライト



**コロナ共存期**  
 主体的選択としてのオンライン  
 リアルとバーチャルの融合

8月「公共フォーラム(一楽荘)」  
 9月「信州・知の連携フォーラム」  
 10月「長野県図書館大会」  
 10月「Re:Publicの逆襲」

▲ 双方向のやりとりによる“参  
 加者”から“場を作る一員”へ  
 の転換(主体的、能動的)  
 ▼ 意識共有と継続システム  
 (モノ・ヒト・コトの整備不足)



誰と?

いつ?

どのくらい?

何がやれそう  
ですか?

## 図書館が動き続けていくには

---

何がしたい  
ですか?

どこで?

どうやって?

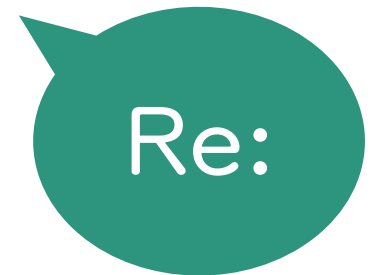
なぜ?

もう、利用者は戻ってきてくれないのではないか

来館してほしい、でも、集まってほしくない

感染リスクが増えてもサービスは縮小できない

収束の形が見えないという災害



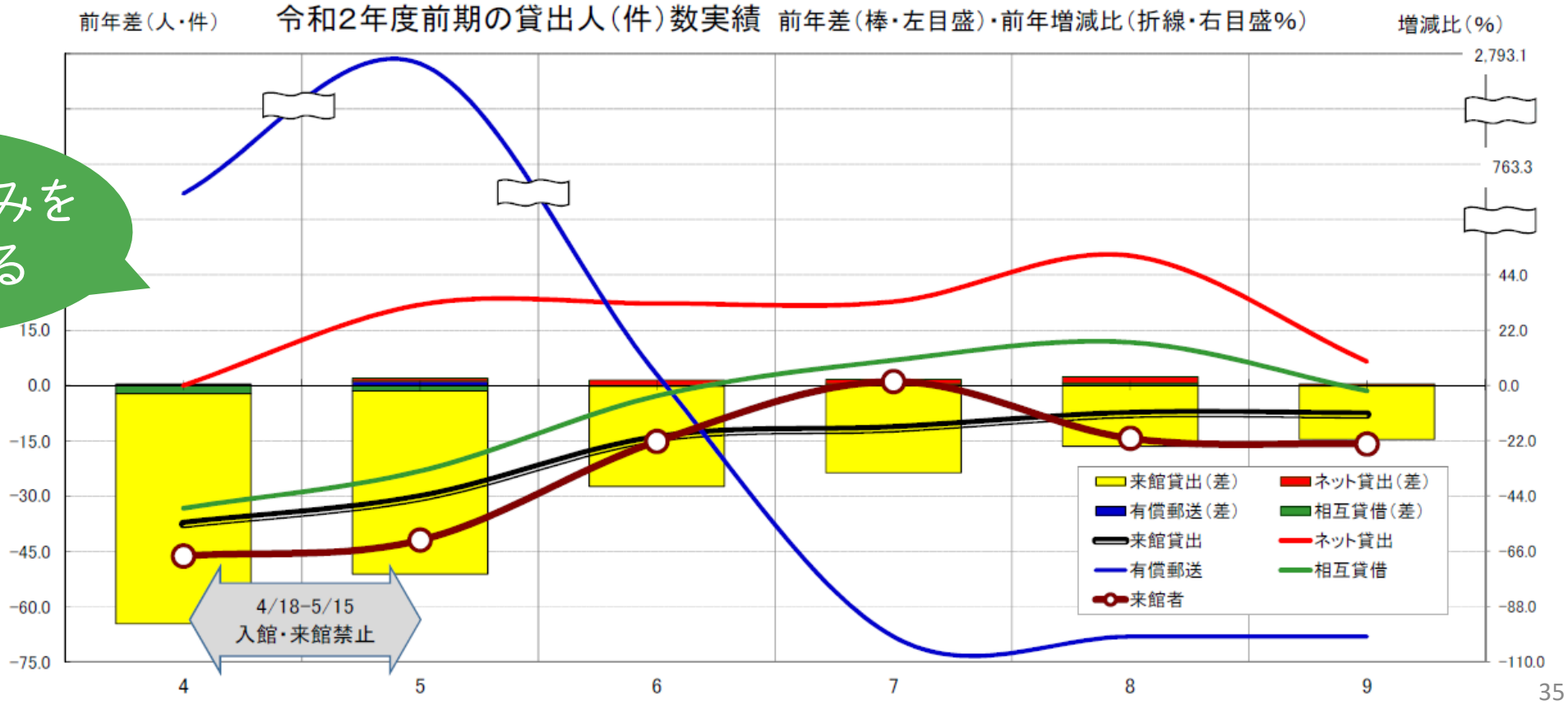
# まずは“今あるもの”を見定めよう

- 来館者数:7月を除き、前年同月比約2割減(座席数:1/2~1/3)
- 来館貸出:前年同月比で2割減
- ネット予約、相互貸借(近隣の図書館への取り寄せ)は微増

従来型のサービスの限界元には戻らないという予測

2020年4月~9月

新たな強みを模索する



“図書館だから”できることを、できるかぎり、みなさまへ。 2021年1月29日 県立長野図書館

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、長野県内の警戒レベルも変遷します。緊急事態宣言が再発出される可能性もふまえ、県立長野図書館におけるサービス状況の変化と図書館利用イメージを示しました。県立長野図書館では「安全・安心・安定」をコンセプトとして、利用されるみなさまの健康を守ることを第一に、図書館の持つ情報源をできる限りお届けできる形を探っていきます。どうぞご理解ご協力のほどお願いいたします。

◆長野県における警戒レベルの強化に対応した図書館利用イメージ ※状況により変動します

感染拡大状況における県立長野図書館の対応		みなさまが県立長野図書館でできること
警戒 レベル3 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染者数が増加している状態です。</li> <li>来館された方々の安全を守るために「<b>図書館でなければできないこと</b>」を優先したサービスに切り替えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の調査閲覧、貸出、インターネットやデータベース、イベント開催など、様々な形でご利用いただけます。</li> <li>館内では常時マスクを着用し、食事はご遠慮ください。また、長時間の会話を控え、個人学習は3階会議室を利用してください。</li> </ul>
レベル4 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソーシャルディスタンスを保つため、椅子の数を減らして間隔をあけています。</li> <li>定期的な換気や消毒による感染対策を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の警戒レベルの上昇に伴い、利用時間の短縮を呼び掛けます。</li> <li>館内の滞在時間をおおよそ2時間に設定しますので、ご協力ください。</li> <li>集客型のイベントは自粛をお願いする可能性があります。</li> </ul>
レベル5 ↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染拡大を防ぐ対策が緊急を要する状態です。</li> <li>外出自粛の要請等に伴い、図書館が休館となった場合でも「<b>情報源にアクセス可能な状況</b>」を優先して残します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専用窓口でのネット予約図書を受け取りが推奨されますが、館内で資料を選び、貸出を行うことも可能です。座席はご利用いただけません。</li> <li>滞在時間をおおよそ30分以内に設定しますので、ご協力ください。</li> </ul>
レベル6	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員も少人数対応となりますが、メール返信やホームページの更新などを適宜行い、図書館の動きが止まらないよう尽力します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休館となります。館内ではご利用いただけません。</li> <li>専用窓口でのネット予約図書を受け取りができるほか、当館資料のお取り寄せ（送料実費）の対象に、通常は館内のみでご利用いただく資料が含まれます。</li> </ul>

警戒レベルに関わらず、ご利用いただけます

- お近くの図書館が開館している場合は、そちらを通して当館の本を受け取ることができます。（開館状況については該当の館をご確認ください）
- 郵送による当館資料のご自宅へのお取り寄せ（送料実費）が可能です。
- デジタル化された地域関連資料が、インターネット経由で【[信州ナレッジスクエア](#)】でご覧になれます。
- メール、電話、FAXでの調査（レファレンス）にお応えします。
- そのほか、県立長野図書館のサービス状況については、[県立長野図書館ホームページ](#)でご案内いたします。

それを  
“これから”に  
つなげよう

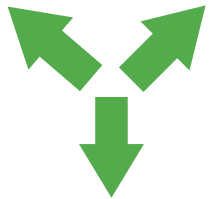
できない  
ことより  
できること

# そして“チーム図書館”をつくろう

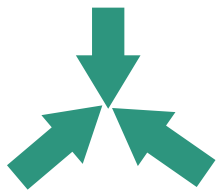
---



みんな<sup>で</sup>、やる。 共に目指す、これからの図書館を考える

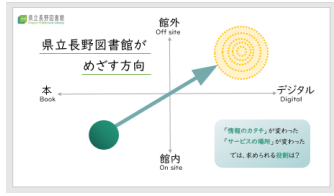


みんな<sup>が</sup>、やる。 それぞれの館が、できることを探す



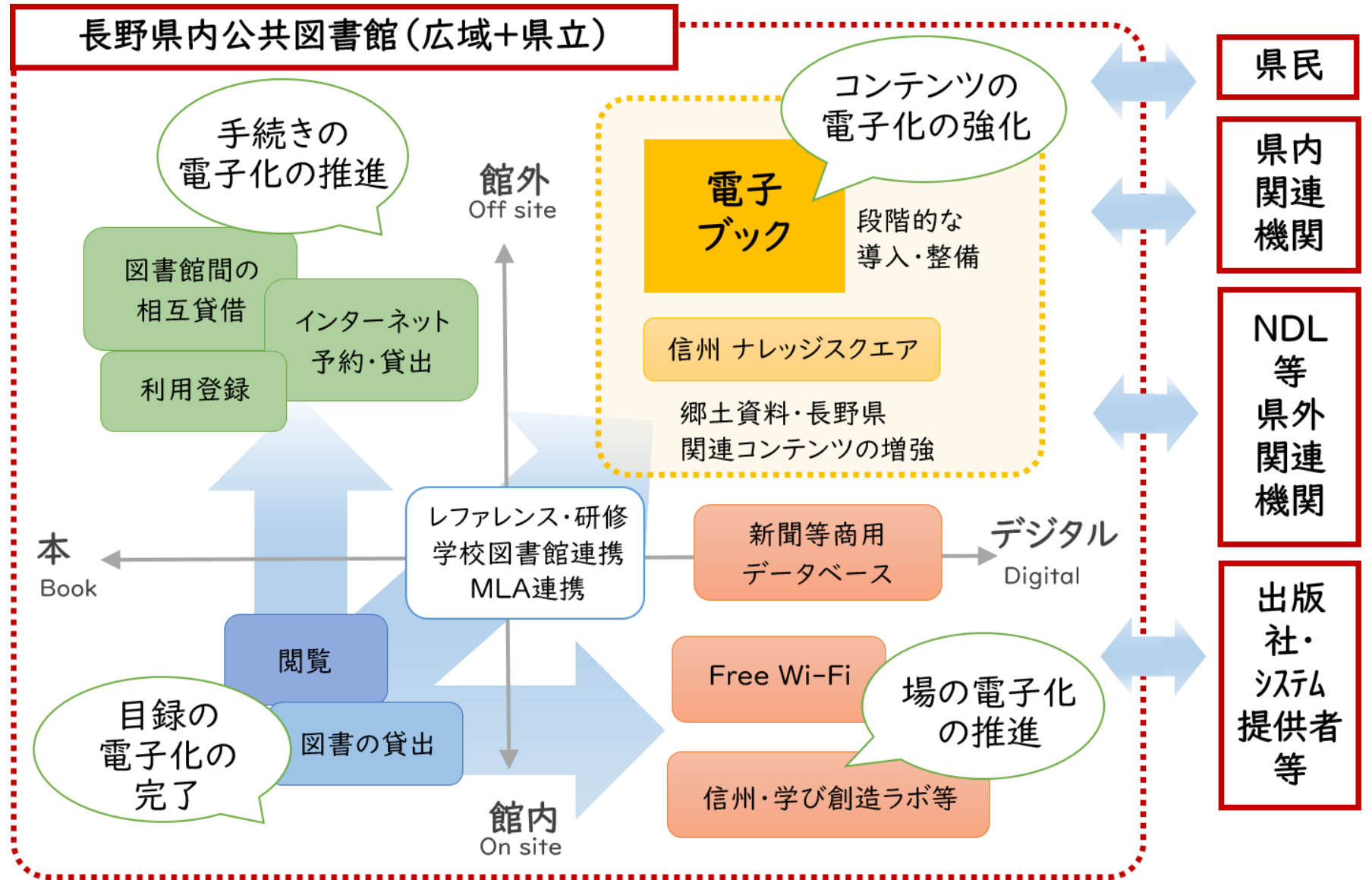
みんな<sup>と</sup>、やる。 ときどき集まり、思いや悩みを共有する

↑↑↑  
長野県  
eLibrary構想  
(たたき台)におむけて



「図書館機能のデジタル化」

「学びのネットワーク化」



## 「学びのネットワーク化」でイメージしていること



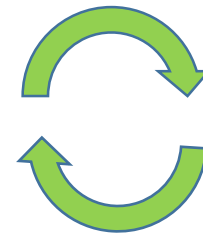
- ・事例: 「林業士入門講座」における、県林業総合センター指導部とのコラボレーション
  - ✓ 林業士が地域社会で活動する際に必要な「情報を扱う知識とスキル」を身に付けるため、データベースの活用方法や、自分の考えを伝えるプレゼンなどを講座として実施。
  - ✓ 活動に活かしていただくことで、間接的に、地域住民に還元。
  - ✓ 「現場の知」と「図書館に集う人々の知」を図書館がハブになってつなぐ。
  - ✓ ICTとしてのネットワークと人のネットワークの両方が必要。

【Webで集おう!】

Labo.Cafe#8 もりラボ  
(伊那の森とつながる会)

2020.08.22

[https://www.facebook.com/  
events/2404720013154549/](https://www.facebook.com/events/2404720013154549/)



# 「知的創造の基盤」としての「信州ナレッジスクエア」



- ✓ 多様な文化を持つ信州各地に蓄積されてきた情報に、オンラインでアクセスできる仕組み。「ナレッジスクエア」は知識の広場を意味する。
- ✓ 日本の分野横断統合ポータルである「ジャパンサーチ」とも連携しており、「信州のデジタル情報のまとめ役（アグリゲーター）」として、日本に、世界に信州の情報資産を発信する窓口でもある。







県内広域図書館連絡会

## 公共図書館初任者研修 (DVD収録)

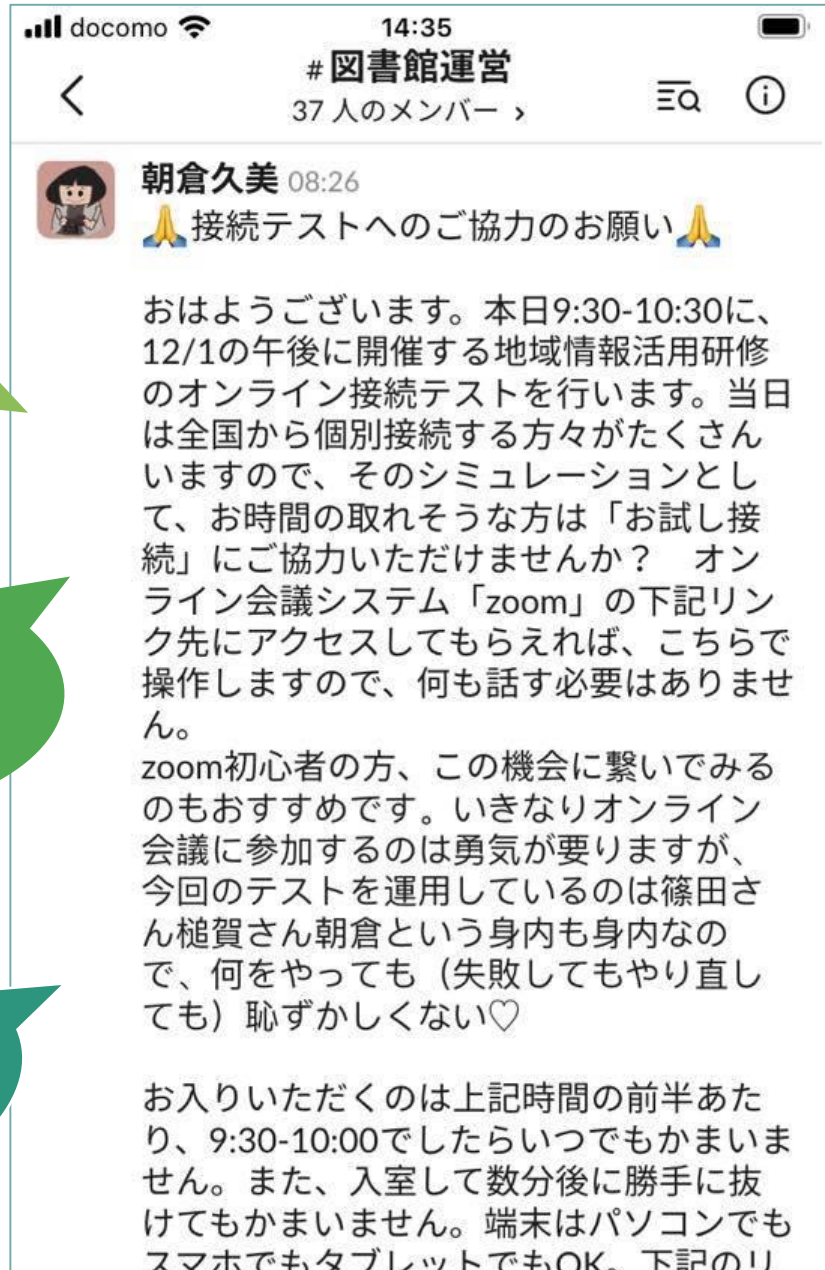


## これからの公共図書館研究会



元気づくり支援金事業



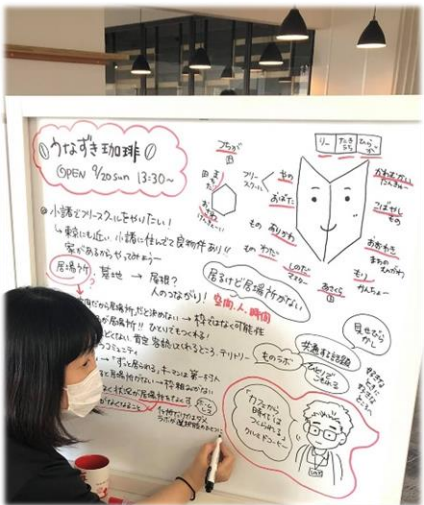


「みんな」から

「わたし」になると

つづいてく





いつ、いかなるときも、  
情報の拠点となるために

“緊急時”  
だから？

機器？  
技術？

「だけ」じゃない  
「も」ある

動き続ける図書館へ。